

# L'ARTE DI FIRENZE

ルネサンス発祥の地

## Firenze の美術

その1

2008年4月から1年間、イタリアのフィレンツェ大学留学中に見学したFirenzeの教会建築や美術品を紹介します。

撮影と文： 大阪府立今宮高等学校英語、イタリア語教諭  
中川信雄 *Nobuo Nakagawa*

# 目次

1. Duomo 大聖堂
2. San Giovanni 礼拝堂
3. Duomo 付属美術館
4. Palazzo Vecchio ベッキオ宮
5. Uffizi 美術館
6. Pitti 宮  
(Boboli 庭園、Palatina 美術館、近代美術館、銀器博物館)
7. Galleria dell'Accademia アカデミア美術館
8. San Marco 教会美術館
9. Santa Croce 教会
10. Santo Spirito 教会
11. Santa Maria del Carmine 教会

日付の入った写真は、中川による撮影である。絵画などは撮影禁止が多いので、Wikipediaなどから引用した。

Firenze Boboli庭園の騎士の丘から南側を望む。右手のArcefriの丘に建つのはLa Torre del Gallo 「ガッロ家の塔」 2008.5.22



# 世界遺産フィレンツェ歴史地区



洗礼堂



Firenze Duomo 公式サイトより引用  
<http://www.duomofirenze.it/storia/storia.htm>

# Firenze Duomo 花の聖母寺 Cattedrale di Santa Maria del Fiore

1296年から140年以上をかけて建設された。外装は白大理石を基調とし、緑、ピンクの大理石によって装飾され、イタリア的なゴシック様式に仕上がっている。



19世紀まではこのように正面は未完成であった。



新しいファサードは1887年に完成した。

2008.4.23

# Firenze Duomo 内部



VasariによるDuomo Cupola の天井画  
『最後の審判』



Duomo 内部で天井  
画を見上げる人々

2008.6.2

# Firenze Duomo内部から展望台へ



Duomo 内部にある「新曲」を持つDante の  
肖像 (Michelino作) 2008.6.2



Cupola内の通路 2008.6.27

# Firenze Duomo の Cupola



## Cupola(丸屋根)の建設

1418年8月19日、クーポラの模型公募の布告が行われ、最終的にブルネレスキの案が採用された。1420年8月7日、建設が開始され、1434年8月30日にはクーポラ頂頭部の円環が閉じられて一応の完成をみる。このクーポラは木の仮枠を組まずに作られた世界で最初のドームであり、建設当時世界最大であった。

下でDuomoを見上げる  
Brunelleschi の像→



2008.4.6

# Firenze Duomo 展望台



展望台→



Duomo 展望台から見た Giottoの鐘楼  
高さ約84m、大聖堂と同じく赤、白、緑  
の大理石で作られているゴシック様式。

展望台の柱や壁の落書き  
2008.6.27

# Giottoの鐘楼から見下ろした洗礼堂



Giotto の鐘楼から見下ろした Duomo の西側。8 角形の建物が、San Giovanni 洗礼堂。右手に Duomo の入口がある。

2008.4.6

# Firenze San Giovanni洗礼堂

Firenzeで最も古い聖堂建築のひとつで、Duomoと同じく白と緑の大理石で覆われている。昔はFirenzeの人は全員ここで洗礼を受けたそうだ。内部は、床は一面のモザイク模様、天井は13世紀のモザイク画『最後の審判』の他、聖書にまつわる多くの場面のモザイク画で飾られている。

左下に「天国の門」がある。



2008.11.12

# San Giovanni 洗礼堂モザイク



中はがらんとしているが、天井を見上げると黄金のモザイクでびっしり覆われている。ビザンチン風のモザイクで描かれているのは、「最後の審判」「洗礼者ヨハネ伝」「キリスト伝」など。



下段の「地獄」を描いたモザイクはおどろおどろしい。

2008.11.12

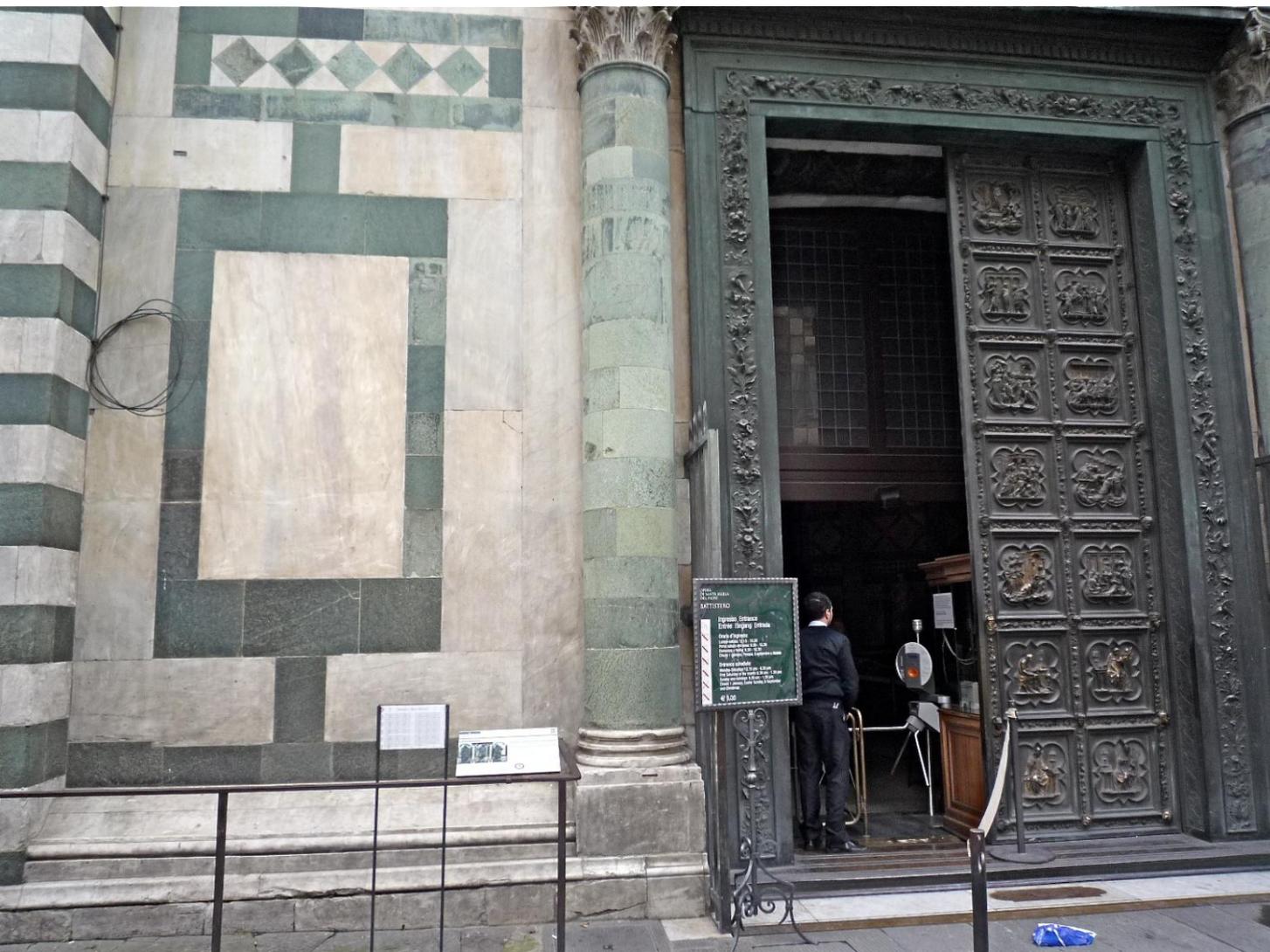
# 洗礼堂の「天国の門」



Duomoの西にあるSan Giovanni 洗礼堂 Battisteroの東側扉門「天国の門」は日本人が寄付した複製で実物は Duomo付属美術館1階にある。Michelangeloが「天国の門」といって賞賛したことからこの呼び名で親しまれるようになった。

2008.4.4

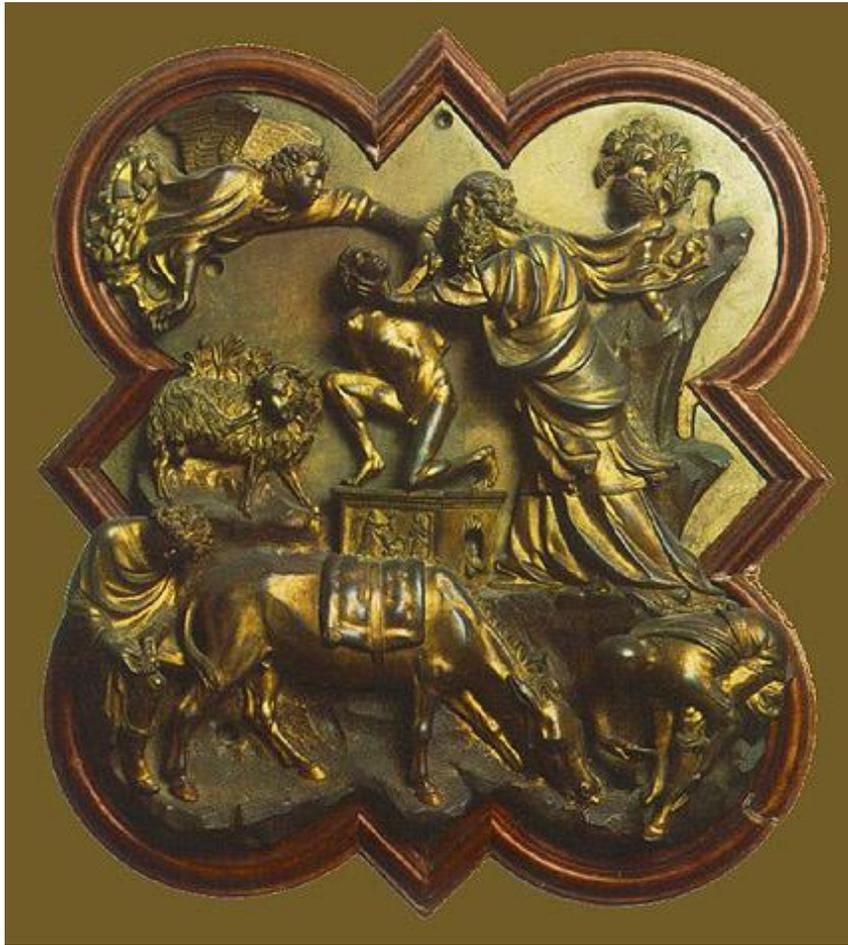
# 洗礼堂の「北側の扉」



1401年、北側の扉の製作者公募が公告された。これはコンクール形式で製作者が選ばれる最初の例といわれており、7人の技師、芸術家がこれに応募した。最後にロレンツォ・ギベルティとフィリッポ・ブルネレスキが選に残り、ギベルティが選ばれた。

2008.11.12

# 洗礼堂の「北側の扉」コンクール



Brunelleschi の「イサクの犠牲」



Ghiberti の「イサクの犠牲」が優勝

# 洗礼堂の「天国の門」



「天国の門」は1425年1月2日にギベルティに制作委託、1452年7月に洗礼堂東側に設置。  
2008.4.4

# 洗礼堂の「天国の門」



2008.4.4

# Duomo付属美術館、MUSEO

Duomo の東側に付属美術館があり、  
Duomo の14世紀の正面を飾っていた彫刻  
作品や14～15世紀にフィレンツェで制作され  
た工芸品などが展示してある。



2008.4.23

# Duomo 付属美術館の展示品



San Giovanni 洗礼堂の  
「天国の門」の本物はこ  
こに展示してある。



2008.4.23

# Duomo 付属美術館の展示品



洗礼堂東門、Ghiberti作「天国の門」の本物。ちょっとすすけている。

2008.4.23

# Duomo 付属美術館の展示品



『Pieta'ピエタ(キリスト降架像)』  
Michelangelo Buonarroti (1547年から  
1548年着手、1552年から1553年完成)

Pieta'(英語のpity)とは「哀れみ、信仰心、忠誠」という意味である。美術用語としては、磔になった後、十字架から降ろされて息絶えたキリストとその周囲の人々を描いたものを指す。ミケランジェロが自分の墓碑のために製作しようとしたが、大理石にひびが入って足が外れ落ちたから制作を断念して弟子にまかせたものである。顔より腕や足の筋肉にこだわるところがMichelangeloらしい。ぐたーとなったキリストを後ろで支えている聖ニコデモNicodemusはMichelangelo自身がモデルとのこと。

2008.4.23

# Duomo 付属美術館の展示品

## 大聖堂の『聖歌壇』 Le Cantorie



La cantoria di  
Luca della Robbia (1431-1438)



La cantoria di  
Donatello (1433-1438)

2008.4.23

# Duomo 付属美術館の展示品



Donatello作, 預言者 Habacuc像  
(1423~1425)



この像には、Lo Zuccone 「かぼちゃ頭」の異名がある。他の像はみな口を閉じているのにこの像は口をあけている。彫刻するのは大変だろう。なんで失敗せずに完成出来るのか不思議である。

2008.4.23

# Duomo 付属美術館の展示品



## 彩色木像『悔悛の聖マグダラのマリア』

MariaはCristoによって7つの悪霊から解放され、回心 (キリスト教で罪の許しと洗礼によって引き起こされる、心の大きな転換) してCristoにつかえるようになった (Lucaによる福音書 Vangelo secondo Luca の第8章2~3節)。Mariaは、十字架上のCristoの死をみとどけた (同15章40節)女性であるが、Cristo没後30年にわたって砂漠に隠遁したそうでこの作品は罪を悔い改め苦行するMariaを描いている。

ぼろをまとっているように見えるがこれは彼女の髪の毛である。この鬼気迫る像に誰でも驚かされるのではないか。両手は離れているが、祈りを表している。

Donatello 作の木彫像 Maddalena penitente (1455年頃)

2008.4.23

# Palazzo Vecchio ヴェッキオ宮



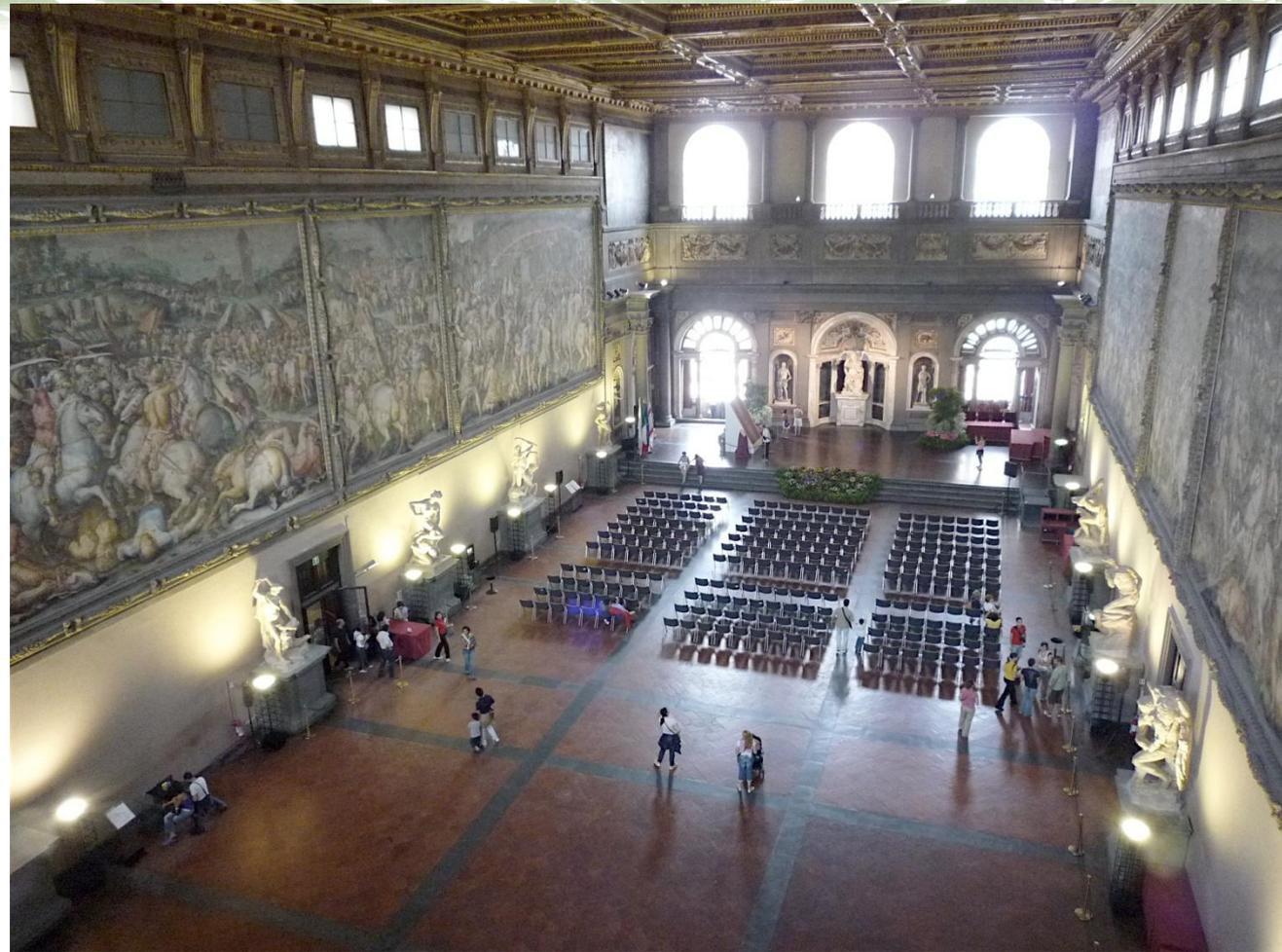
ヴェッキオ宮 2008.3.31

設計が始まったのは1299年、設計には A. di Cambioが当たった。塔の高さは94m。1530年にToscana公国が出現するまで、ここはFirenze共和国の政庁であった。



Signoria 広場 2008.5.4

# Palazzo Vecchio



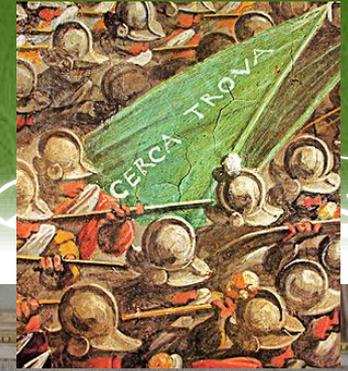
宮殿の2階にある大広間。共和制時代にはここで市民会議が開かれた。15世紀末にCronacaが設計し、天井や壁面の画面は Cosimo 1世の依頼で、16世紀後半に Vasariの工房が制作した。ヴェッキオ宮は、現在も市役所として使われている。

Cosimo 1世



ヴェッキオ宮 2階 Salone dei Cinquecento 「500人広間」  
2008.6.1

# Palazzo Vecchio



Da Vinciの絵が隠されていると日本でとても話題になったVasariの壁画の中から、緑色の旗に書かれた“Cerca, trova”「探せ、見つけろ」の言葉を探し出そうと必死になったが見つからなかった。(注) 2007年5月、イタリア文化庁は、レオナルド・ダ・ヴィンチの幻の壁画「アンギアーリの戦い」が500人大広間にあるヴァザーリの壁画の裏側に隠されていると発表した。 2008.6.1

# Palazzo Vecchio



「500人広間」入り口の右奥にはStudiolo di Francesco I「フランチェスコ1世の書斎」があり、隠し扉があるけれども、予約がないと入れず写真撮影のみ。2008.6.1



Francesco 1世



奥の丸い絵は、Francesco 1世の母親、Eleanora di Toledoの肖像画。



# Palazzo Vecchio

1567年の地球儀に驚き！



1567年にCosimo de' Mediciの命令により  
Egnazio Dantiが作製した地球儀

2008.6.1

**M**

**Quartieri Monumentali**  
**Emozioni da museo / Museum Emotions**

## Diagnostics on Egnazio Danti's terrestrial Globe

The globe that Egnazio Danti realised by order of Cosimo de' Medici around the year 1567 is not only a rare token of the geographical knowledge of the late Renaissance, along with the geographical maps that surround it, but also the first known globe of monumental dimensions and a unique exemplar as far as construction technique is concerned. In the prospects of restoration, a diagnostics campaign has been launched which foresees using several of the most advanced technologies of non-invasive testing, in order to clarify how the globe was made, verify its overall state of preservation, along with the causes behind the buckling of the sphere's lower extremity. Among the diagnostic techniques, Computerised Axial Tomography, never before experimented on manufactures of such dimensions on site, made it necessary to devise a platform equipped with a mechanism positioned on the globe's base to make it revolve. The platform will remain in place even after the conclusion of restoration with its definitive facing that will be made on termination of work.

**Direction of Works:**  
Comune di Firenze, Servizio Musei Comunali

**Technical Direction:**  
Opificio delle Pietre Dure di Firenze

**Executive Supervision:**  
Soprintendenza per i Beni Architettonici  
e il Paesaggio e per il Patrimonio Storico Artistico e  
Demotnoantropologico di Firenze, Pistoia e Prato

**Tomography (CAT):**  
Dipartimento di Fisica dell'Università di Bologna

**UV fluorescence, thermography, micro-profilometry:**  
Istituto Nazionale di Ottica Applicata di Firenze

**Infrared reflectography, X-rays, stratigraphic analyses:**  
Opificio delle Pietre Dure di Firenze

**X fluorescence (XRF), FT-IR spectrophotometry:**  
Dipartimento di Chimica dell'Università di Perugia

**3D relief:**  
Istituto di Scienza e Tecnologie dell'Informazione  
"Alessandro Faedo" di Pisa, Leica Geosystems S.p.A.,  
SMS di Tommaso Grasso & C. s.a.s.

The platform was made and donated to  
the Comune of Florence by:  
COMECER S.r.l. of Castel Bolognese

The platform was installed with the collaboration of Servizio  
Fabbrica Palazzo Vecchio e Chiese and Direzione Servizi Tecnici  
of the Commune of Florence

# Uffizi 美術館



Francesco 1世



1559年のSiena征服の後、Cosimo 1世がVasariに命じて作らせた。当初は、Office つまり、役所として建てられたが、Cosimoの後を継いだFrancesco 1世は上の階を美術館にして、Medici家所有の美術作品を収めた。これがUffizi 美術館の始まりである。

# Uffizi 美術館



Uffizi 美術館から、Ponte Vecchio  
の Vasari の回廊を見おろす。

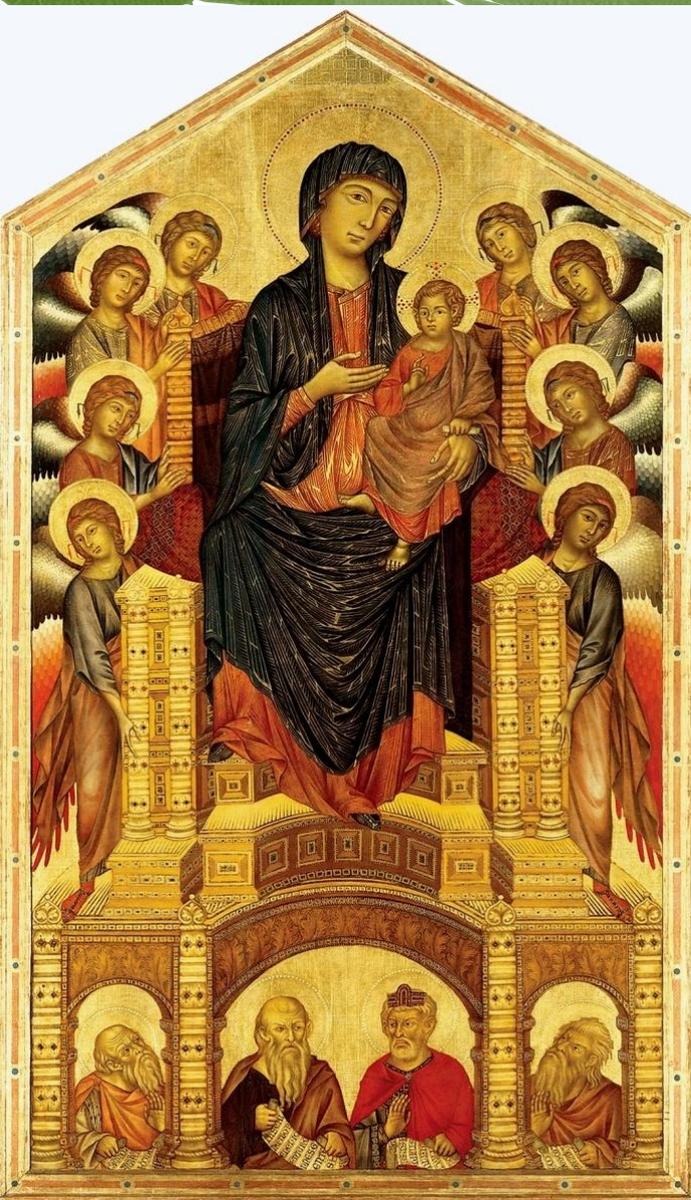
2008.5.9



世界遺産なのに、Uffizi美術館の壁にはこんなに落書きがある。並んで待っている人が書いたものである。

2008.9.27

# Uffizi 美術館 ルネサンスの夜明け



Cimabue (1240~1302)  
「サンタトリニタの聖母」

チマブーエの本名はCenni di Pepoで、ゴシック期のフィレンツェで活躍した。西洋絵画が中世から近代へと移る最初の時期にいた画家であり、次のページのGiottoは、彼の弟子である。彼は宗教画の伝統をぶち破り、人間の自然な表情や空間表現などがルネサンスへの橋渡しの位置にある。



Giotto (1267頃～1337)

Ognissanti Madonna 「荘厳の聖母」

Giotto di Bondone はフィレンツェ近郊出身の画家、建築家でイタリアルネサンスの始まりを示す、革新的な作品を生み出した。Vasari が「Giottoは、ビザンチン芸術を打ち壊し、現実味あふれる素晴らしい絵画を描いた」と書いたように、かれは3次元的空間表現や人間の自然な愛情表現をもたらした。

この絵のように、Giottoは人物の大きさや配置が現実世界にいるように描いている。

# ルネサンスとは

Rinascimento (イタリア語)は、ri-「再び」  
nascere「生まれる」の名詞形で、14世紀イ  
タリアのフィレンツェに興り、16世紀までに  
全欧州に展開した文学、思想、芸術上の革新  
運動である。ギリシャ・ローマの古典文化を  
復興し、人間性の回復などに特色が見られ、  
「暗黒時代」たる中世からの離脱を実現した  
近代文明の黎明期に当たる。

# Uffizi 美術館 第8室



Fra Filippo Lippi の  
Madonna col Bambino e Due Angeli  
「聖母子と二天使」 (1455-60)

Fra Filippo Lippi (1406-69)

イタリア・フィレンツェ初期ルネサンス、  
コジモ・デ・メディチ時代の画家である。

彼は画僧として活躍しながらも詐欺行為  
や修道女との同棲事件などスキャンダルが  
多かった。あげく、最後には環俗している。

女たらしで有名で、女に財産をすべてつ  
ぎ込んでしまう。それがかなわないと女の  
絵を描いて思いを鎮めようとしたり、それ  
でも駄目なら絵を描くことも捨ててしま  
うほどだったという。

しかしそんなフィリッポ・リッピでも、  
聖務停止などなく、人気画家として活躍し  
た。時の最高権力者コジモ・デ・メディチ  
からもずっと慕われた。

# Uffizi 美術館 第10室



Botticelli (1445~1510)

Botticelli  
Madonna del Magnificato  
額 (1481年)

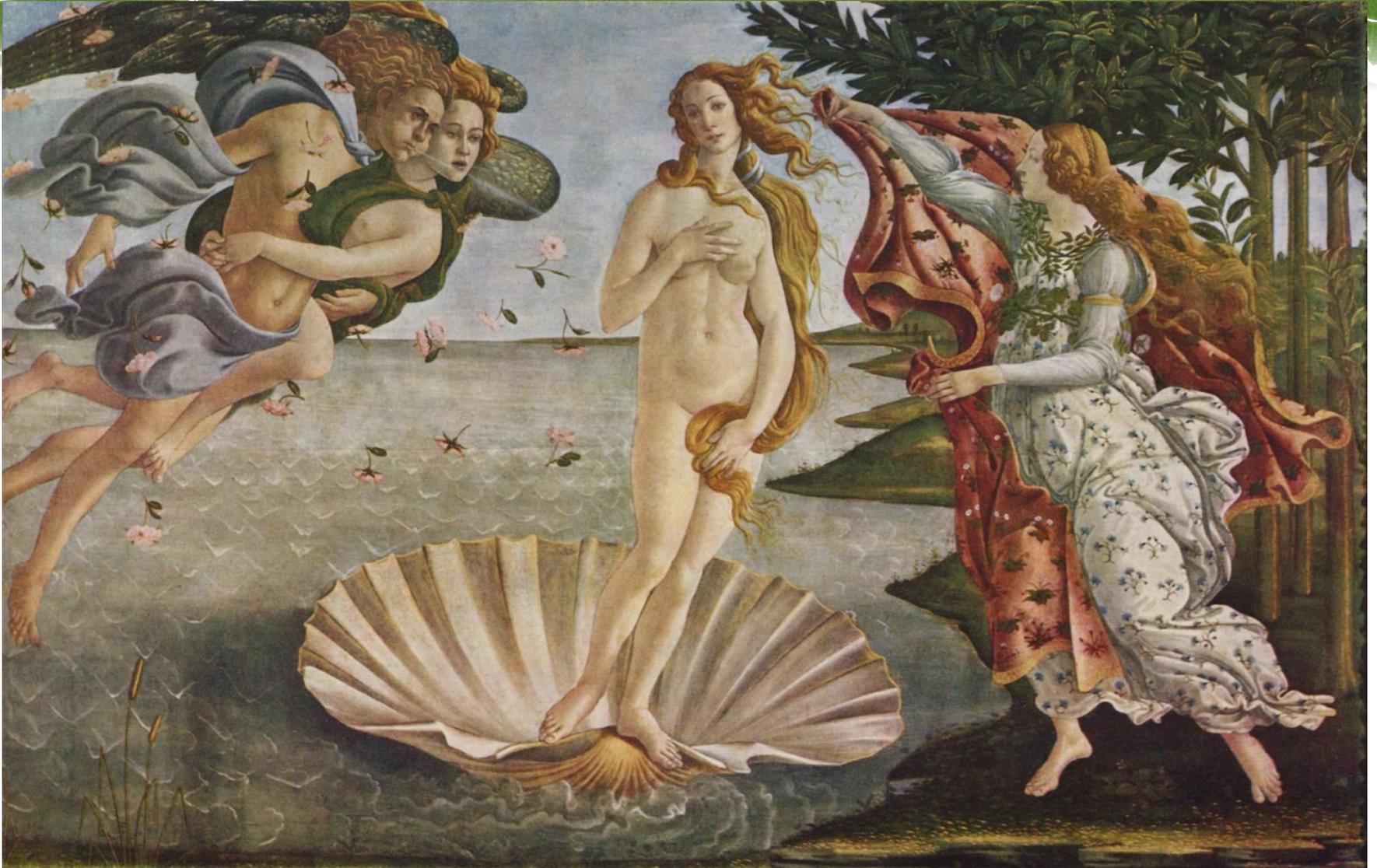
# Uffizi 美術館 第10室



Botticelli (1445~1510) は、ルネサンス期のイタリアのフィレンツェ生まれの画家で、本名は Alessandro di Mariano Filipepi といい、ボッティチェッリは兄が太っていたことからついた「小さな樽」という意味のあだ名である。

Botticelli  
Madonna del Magnificato  
拡大 (1481年)

# Uffizi 美術館 第10室



Botticelli の La nascita di Venere 「ヴィーナスの誕生」 (1485年頃)

# Uffizi 美術館 第10室



Botticelli (1445～1510) は、初期ルネサンスで最も業績を残したフィレンツェ派の代表的画家。フィリッポ・リッピの元で学び、メディチ家の保護を受け、宗教画、神話画などの傑作を残した。

しかし、後にボッティチェッリはサン・マルコ修道院長 Girolamo Savonarolaの影響を受け、贅沢品として美術品を焼却する「虚栄の焼却」にすすんで絵を差し出し、絵筆も取らなくなったそうだ。

Botticelliの

Madonna della Melagrana  
「ザクワの聖母」 (1487年)

# Uffizi 美術館 第10室



Sandro  
Botticelli

Primavera  
「春」  
(1478 頃)

地面の草花  
は今でもト  
スカナ地方  
に自生する。

# Uffizi 美術館 第15室



Andrea del Verrocchio (1435~1488)  
Battismo di Cristo  
「キリストの洗礼」(1472~75)

左側の天使のみがLeonardoの作で、これを見た師匠のVerrocchioは以後、絵を描くのをやめ自分は専門の彫刻に専念したという。



# Uffizi 美術館 第15室

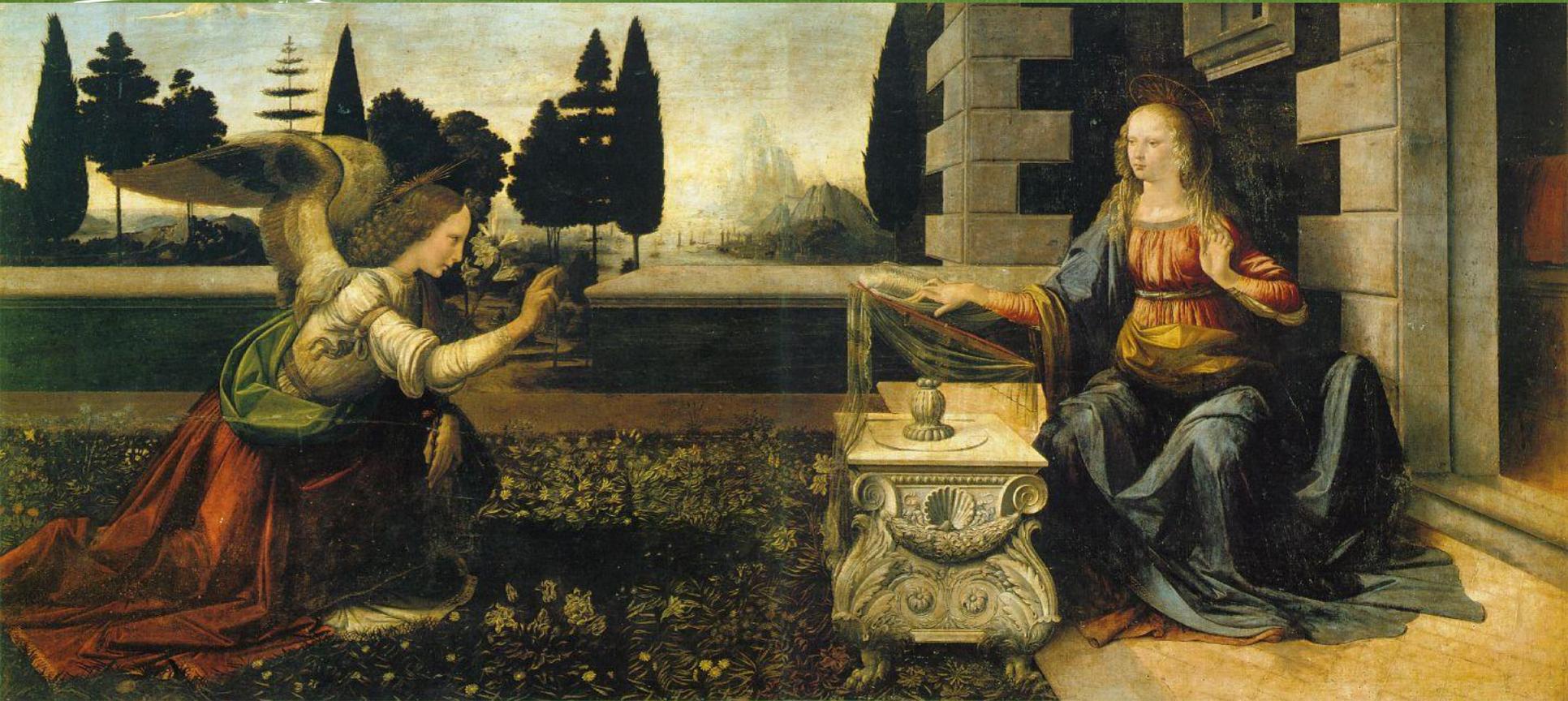


Leonardo da Vinci  
(1452~1519)

Adorazione dei Magi  
「マギ(東方三博士)の礼拝」  
(1481~1482 未完)

Leonardoは、FirenzeのVerocchio工房で働きながら絵画や彫刻や設計などを学んだ後、自らも独立して工房を構えている頃、サン・ドナート・ア・スコペート修道院より祭壇画の注文を受けて、『東方三博士の礼拝』の制作を開始した。しかし途中でMilanoへ行ったので未完となった。

# Uffizi 美術館 第15室



Da Vinciの Annunciazione 「受胎告知」(1472~75)

2007年春に1億Euro (155億円)で東京に展示された時はとても話題になったが、イタリアでは反対運動がおこったそうである。その「受胎告知」を、2008年5月9日、周りに人がほとんどいない状態で顔を突きつけてじっくりと鑑賞した。背景には「ぼかし」や「空気遠近法」が用いられている。「水蒸気は青い」

# Uffizi 美術館 第25室



Michelangelo Buonarroti  
(1475～1564)  
Tondo Doni「聖家族」  
(1506～08)

ミケランジェロは絵も描けたが、自分では何よりも彫刻家だと思っていた。そこでLeonardoは彼に「君に空気が彫れるか？私には描ける」と言った。

# Uffizi 美術館 第26室



Raffaello

Raffaello作、Madonna del cardellino 「ひわの聖母」修復の過程

THE INDEPENDENT

Reuters



Restorers at Opificio delle Pietre Dure had to carefully remove centuries of grime from Raphael's 'The Madonna of the Goldfinch' painted in 1506

# Uffizi 美術館 第26室

Raffaello

Madonna del cardellino

2008年修復後の「ひわの聖母」  
(107 cm × 77 cm)

2008.12.22

修復されたラファエロの「ひわの聖母」をPalazzo Medici Riccardiメデイチ・リッカルディ宮で見た！積年の汚れを取り去った後の聖母の服の赤と青の鮮やかなこと！三角形の構図の安定感とおだやかな背景、そして優しさに満ちた聖母の面差しのおかげでいつまでも眺めていたい絵なのだ。受難の象徴の鳥、鴉(ひわ)を手渡すヨハネを心配そうに見る聖母の不安も表現されている。Leonardo da Vinciの「ぼかし画法」や師匠Peruginoを真似て、真似て、聖母を描き続けたRaffaelloの最高傑作だ。

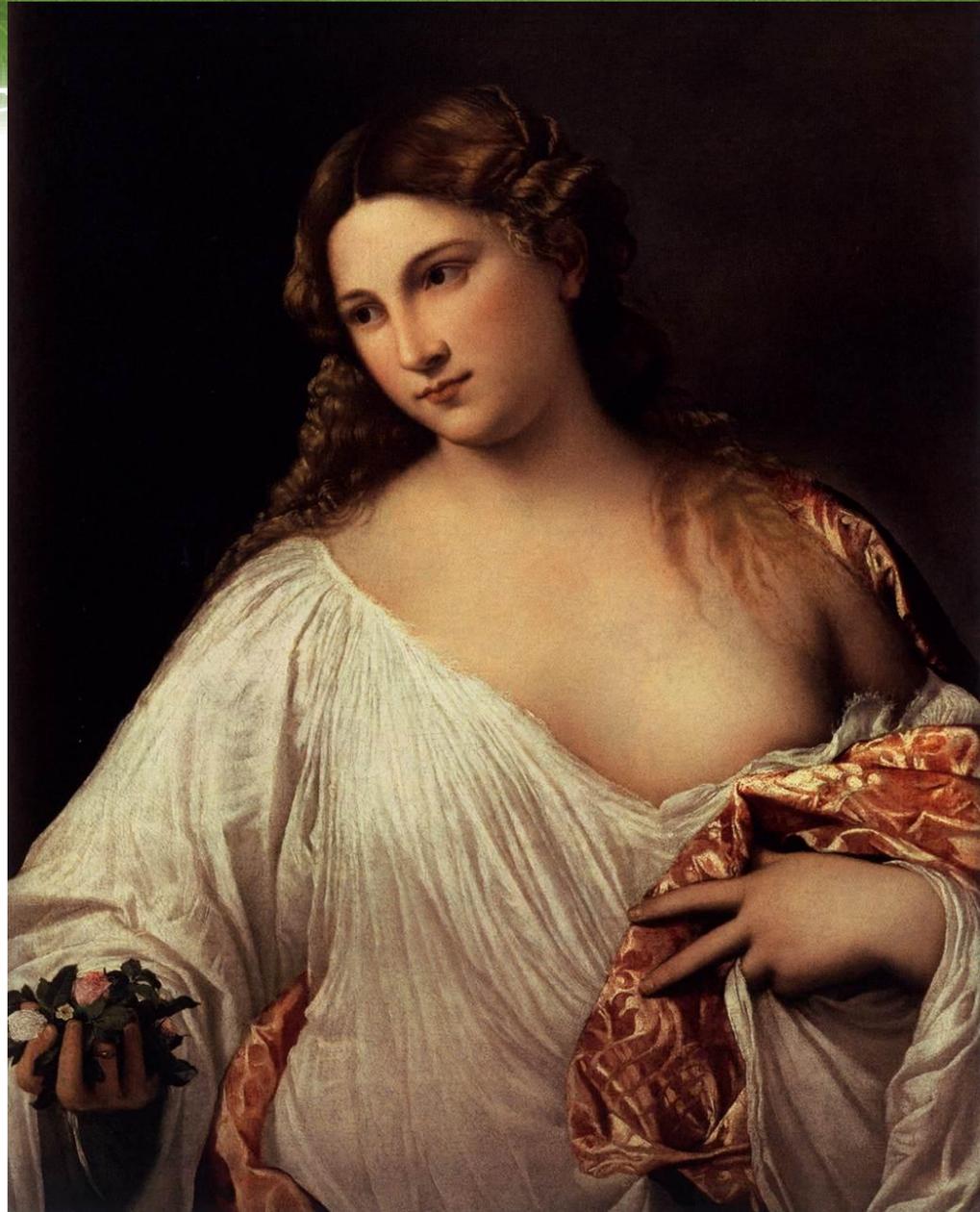


# Uffizi 美術館 第28室

Vecellio Tiziano  
(1490頃～1576)

Flora (1515-1520)

フローラは、ローマ神話における花と豊穡の女神である。人間賛歌を謳ったルネサンスの考え方がよく現わされている。



# Uffizi 美術館 第46室

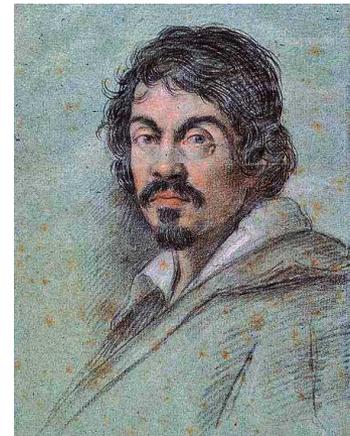


Michelangelo Merisi di Cravaggio  
(1571~1610)

Bacco 「酒の神」(1597年頃)

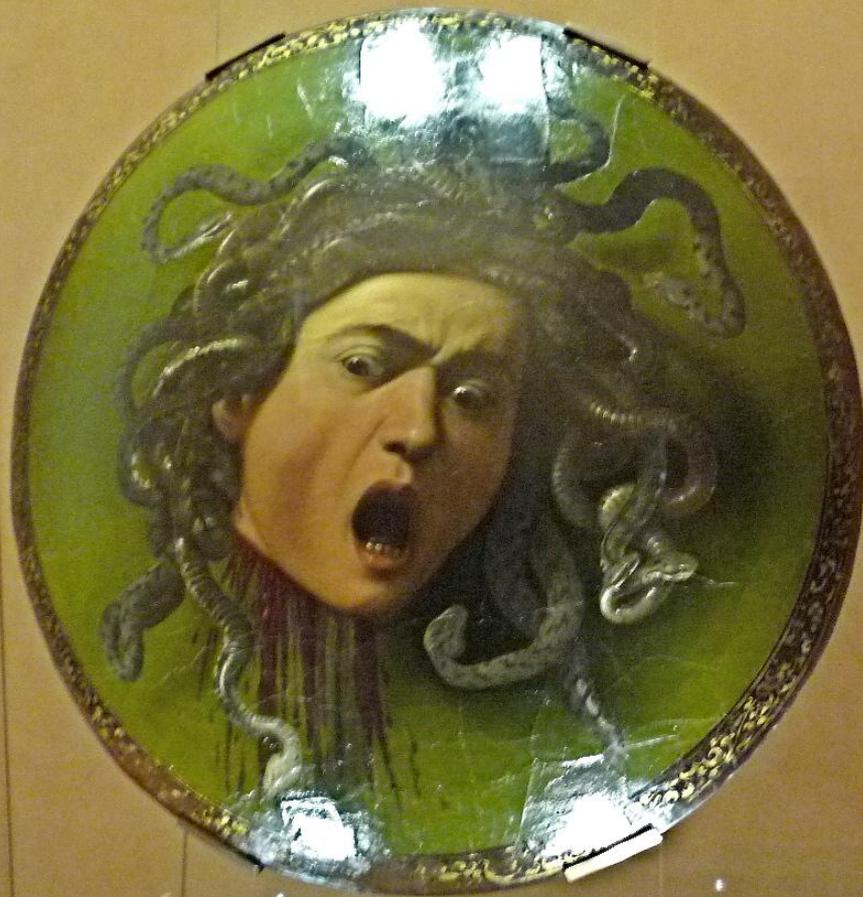
バッカスはローマ神話の名前で、ギリシャ神話ではディオニュソスという。

カラヴァジョは、乱暴者かつ変わり者で有名であった。1600年には、殺人を犯している。ローマから追放され、教皇の恩赦を待ちながら、ナポリ、マルタ、シシリアと流れ、マラリアで亡くなっている。



Caravaggio

# Uffizi 美術館 第46室



裏側 2008.9.27 撮影

Michelangelo Merisi di  
Cravaggio (1571~1610)

彼の出身地のCaravaggio  
が呼び名となった。

Medusa 「メドューサ(見るものを石に変えたという蛇髪の女怪)」

# Uffizi 美術館 第46室

Caravaggio

「イサクの犠牲」(1603)



神はアブラハムの信仰を試すため、一人息子のイサクを犠牲として火にかけるように命じる。アブラハムはイサクを縛り上げ、祭壇の上に横たえて小刀を抜いた。その時、天使が現れて言った。

「私のため子の命を惜しまないあなたが神を恐れる者であることを、私は今知った」。

アブラハムが目を上げると、一頭の牡羊が藪にいたのが見えた。彼は、これを代わりの生贄とした。

# Pitti 宮



Cosimo 1世

2008.5.22



2008.4.9

Arno川西岸、Toscana 大公の宮殿として使われた。Uffizi とはVasariの回廊で結ばれている。Cosimo 1世とその家族の私的空間だった。



# Pitti 宮 Boboli 庭園

Pitti 宮の裏は、Boboli 庭園が広がる。



ネプチューンの噴水。



2008.5.22

16世紀、Medici家の所有後、1550年～1558年に拡張工事を行った。ヨーロッパ王宮庭園の基本であり、ベルサイユ宮殿もこの影響を受けている。

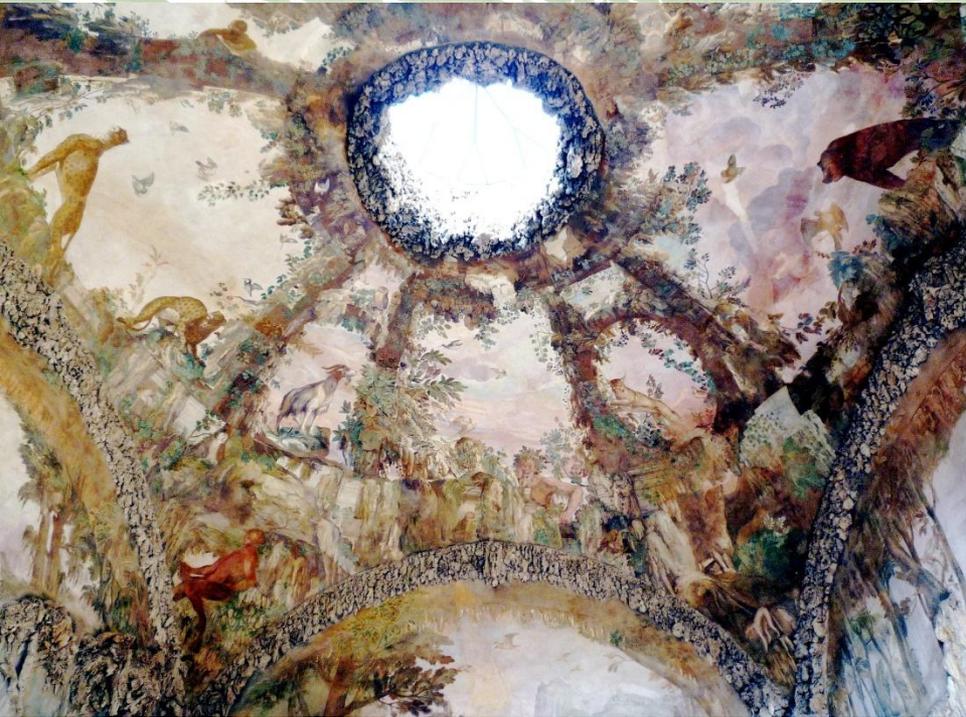
# Pitti 宮 Boboli 庭園

2008.5.22



Boboli 庭園の北側に、Grotta del Buontalenti 「ブオンタレンティの洞窟」がある。(1574年)

# Pitti 宮 Boboli 庭園



Grotta del Buontalenti  
「ブオンタレンティの洞窟」(1574年)



鍾乳石で出来た洞窟である。

2008.5.22

# Pitti 宮 Boboli 庭園



2008.5.22

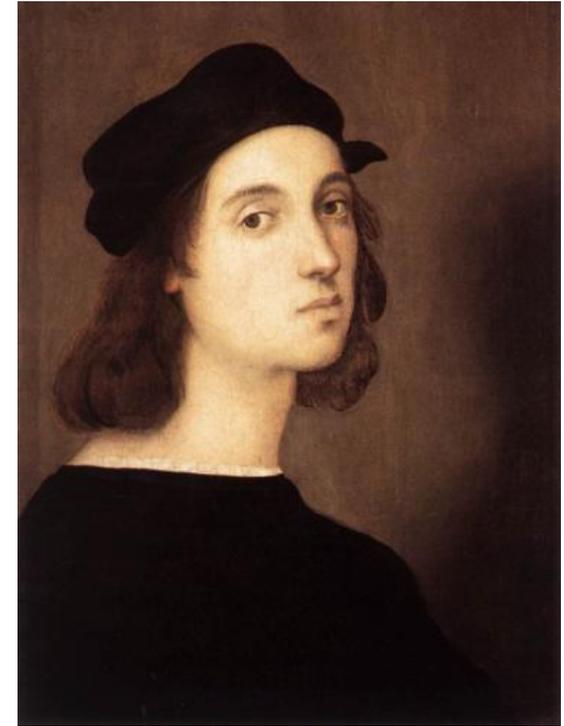
# Palatina美術館 第16室

Filippo Lippiの  
Tondo Bartolini  
「聖母子とマリア誕生の物語」  
(1450年頃)

キリスト教ではザクロは再生と不死に対する希望のシンボルである。したがって、キリスト復活の象徴ともされる。この絵やボッティチェリ作「柘榴の聖母」では幼いキリストがザクロを持っている。



# Palatina美術館 第22室



Raffaello 作

Sacra Famiglia Petta dell'Impannata  
「布貼り窓の聖母子」 (1514年頃)

# Palatina美術館 第24室



Caravaggio の Amorino Dormiente 「眠るキューピッド」 (1608年)

# Palatina美術館 第28室



Raffaello  
Maddalena Doni (1506年頃)



Raffaello  
Madonna del Granduca 「大公の聖母」  
(1505年頃)

# Palatina美術館 第28室



Raffaelloは、37年の短い生涯で30点近い聖母子像を残したが、その約半数がFirenze時代の4年間に描かれたものである。幼くして母を失ったRaffaelloは亡き母のイメージを聖母像に投影し続けたともいわれる。

Raffaello  
Madonna della Seggiola  
「小椅子の聖母」(1514年頃)

# Palatina美術館 第29室

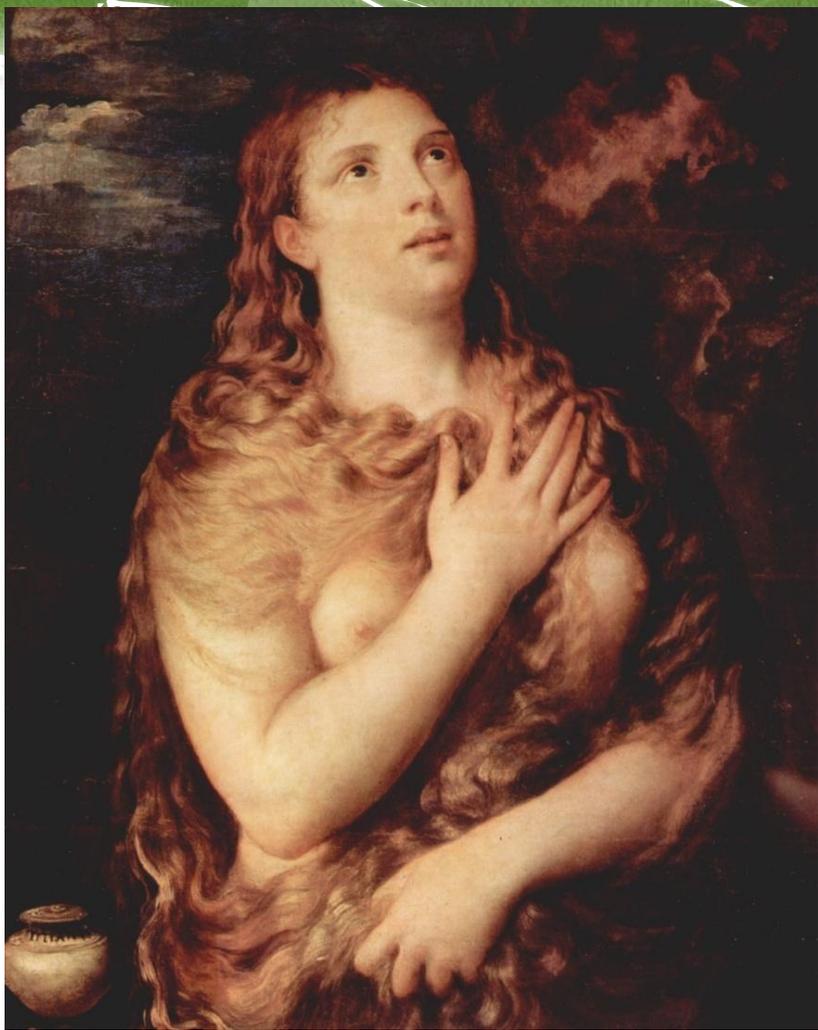
Raffaello

La Velata

「ヴェールをかぶった婦人の肖像」  
(1516年頃)



# Palatina美術館 第31室



Tiziano のLa Maddalena (1533年)



TizianoのRitratto Virile  
「若者の肖像」 (1540年)

# Pitti 宮、近代美術館

「マッキヤ(斑点)イオーリ」派を代表する画家。



Fattori (1825~1908)  
Libeccciata (1885年)



Silvestro Lega (1826~1895)  
Il Canto di uno Stornello (1868年)

# Pitti 宮、近代美術館



Federico Zandomenighi (1841~1917) の A Letto 「眠る少女」 (1878)

# Pitti 宮 銀器博物館



Curzio Che Si Getta nella Voragine  
「裂け目に身を投げるローマ人、マルクス・  
クルティウス」(1879年)

細かい象牙の彫刻である。

2008.5.22

# Pitti 宮 銀器博物館



Avorio 象牙細工



2008.5.22

# Pitti 宮 銀器博物館

2008.5.22



とても小さいはさみ



Bottega dei fratelli Saracchi サラッキ兄弟の工房  
La Spettacolare Fontana da tavola con testa di drago  
竜頭のガラスの水差し (1589年頃)

# Pitti 宮 陶磁器博物館



メディチ家、  
ロレーヌ家、  
ブルボン家、  
サヴォイ家の  
磁器コレク  
ションが並ぶ。  
マイセン、カ  
ポディモンテ、  
ジノーリなど  
が展示されて  
いる。

2008.5.22

# Accademia美術館



Accademia、Uffizi、Pittiの各美術館が「ヨーロッパ文化の日」で入館無料。前から見たかったMichelangeloのDavide像を見た。



2008.9.27

# MichelangeloのDavide像

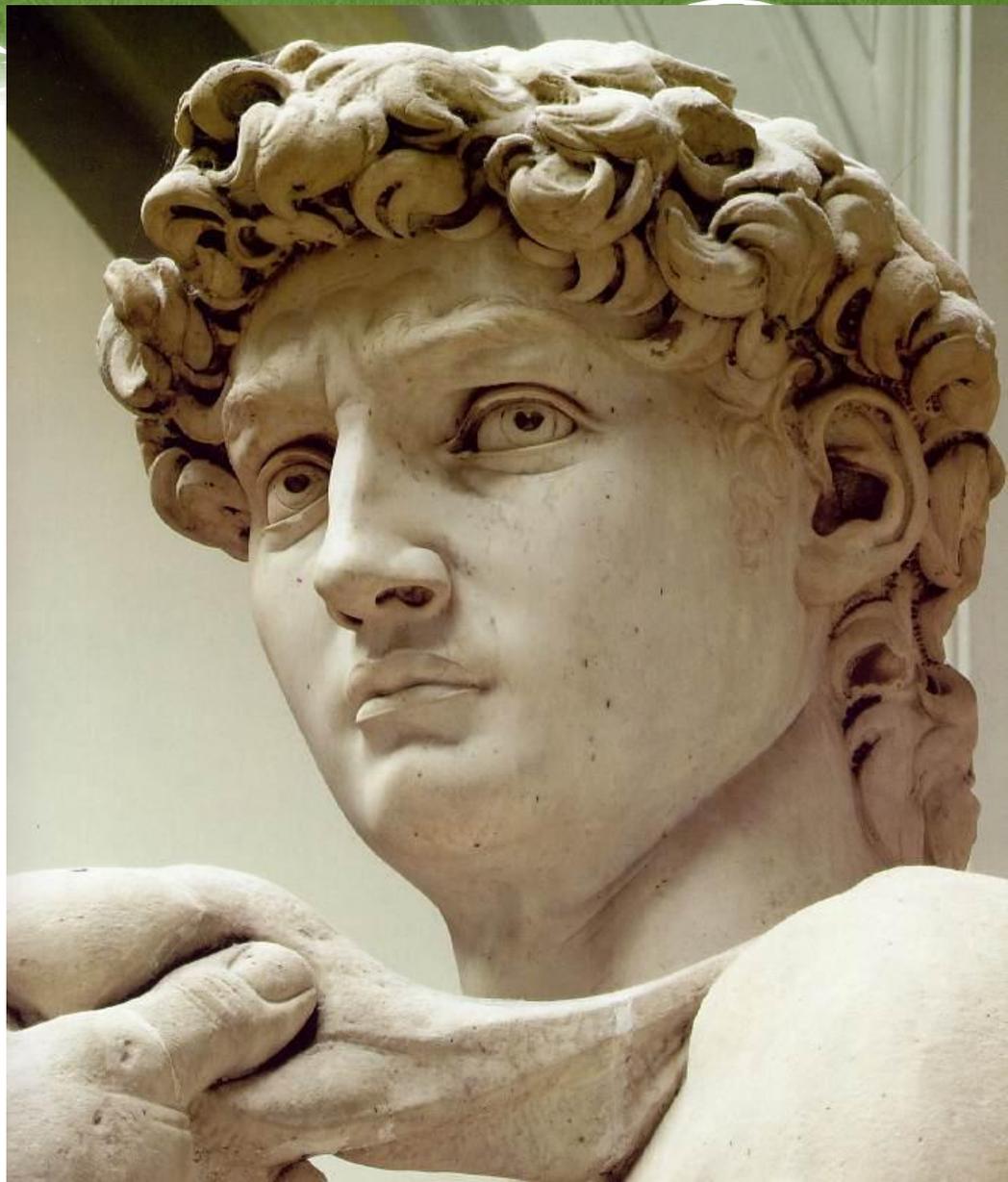
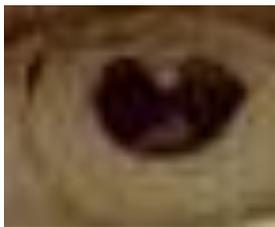


2008.9.27

# DaVIDE像の瞳はハート形

Accademia美術館で最高の展示物、DaVIDE像は、Signoria広場にある複製より巨大に見え、とても美しかった。筋肉美を愛したMichelangeloの26歳の作品である。実物でなければ見ることの出来ない右腕から手への静脈のふくらみ、背中から臀部への曲線に「本物は素晴らしい！」とため息をついた。

良く見ると、瞳はハート形をしている。



# Accademia美術館には楽器の展示も



Accademia美術館にはDavide像以外に大した物はないであろうと思っていたら、Alle Origini del Suono「音響の起源に」という展示が別室で行われていて、宗教画よりこちらの方が面白かった。

1775年の ghironda (中世から18世紀まで使用されていたハンドルを回して音を出す弦楽器) 2008.9.27

# Accademia美術館には楽器の展示も



(左)1700年のClavicembalo d'ebano 黒檀製のチェンバロ (右) 1739年のPianoforte verticale おそらく初の縦型ピアノ

2008.9.27

# San Marco 教会美術館



San Marco 広場と同教会



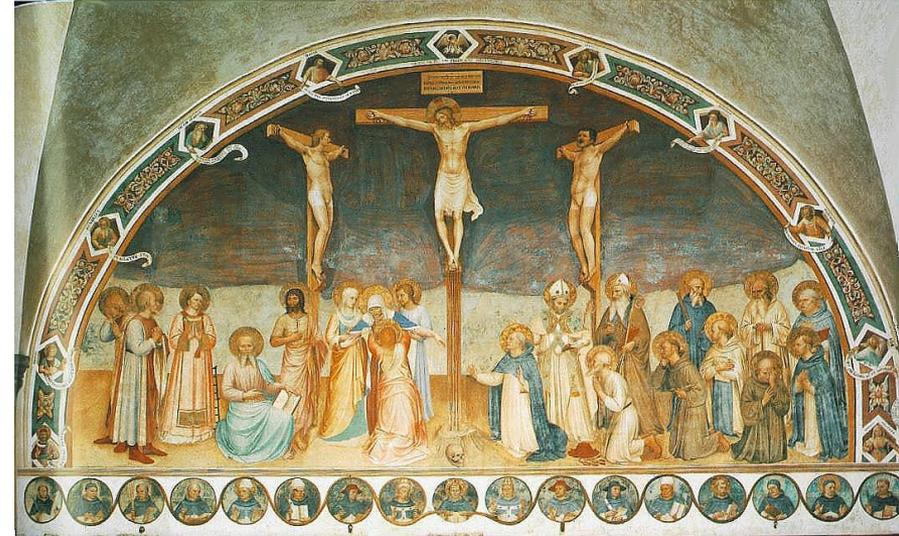
San Marco美術館

2008.12.23

# San Marco教会の隣に修道院があり、 Beato Angelicoの美術館になっている



Chiostro di San Antonio 聖アントーニオ  
(修道院の院長を務め、後にフィレンツェ  
大司教となった聖人)の回廊。2階が修道  
僧の僧房になっている。



この回廊の北側には、Beato Angelico  
の大作、Crocifissione「キリスト磔刑  
図」がある。彼は涙を流しながらキリ  
ストの磔刑図を描いたそうである。

2008.12.23

# Fra Angelico 「天使のような修道士(frate)」



Luca Signorelliによって彼の死後に描かれたBeato Angelicoの肖像画

Fra Angelico 「天使のような修道士(frate)」は説明的な言い方なので、ここでは信者が使うBeato 「福者、至福を受けた人(聖人に次ぐ地位)」の方を使おう。1982年になってフラ・アンジェリコはローマ教皇ヨハネ・パウロ二世によって正式に「福者」に列せられた。

この修道院の画僧 Beato Angelicoは、1400年頃フィレンツェの郊外、Vicchioで生まれ、1425年にドメニコ修道会の修道士となり宗教書の写本装飾師として活動した。1436年改築中のサン・マルコ修道院に移り、一連の壁画を制作した。フィレンツェの事実上の支配者であったコジモ・デ・メディチは、フィリッポ・リッピと共に彼をお抱え画家とした。1445年法王ニコラウス5世に招かれローマに行きニッコリーナ礼拝堂の一連の壁画を描いた。晩年はローマのサンタ・マリア・ソープラ・ミネルバ修道院で過ごし、そこで1455年に生涯を終えた。

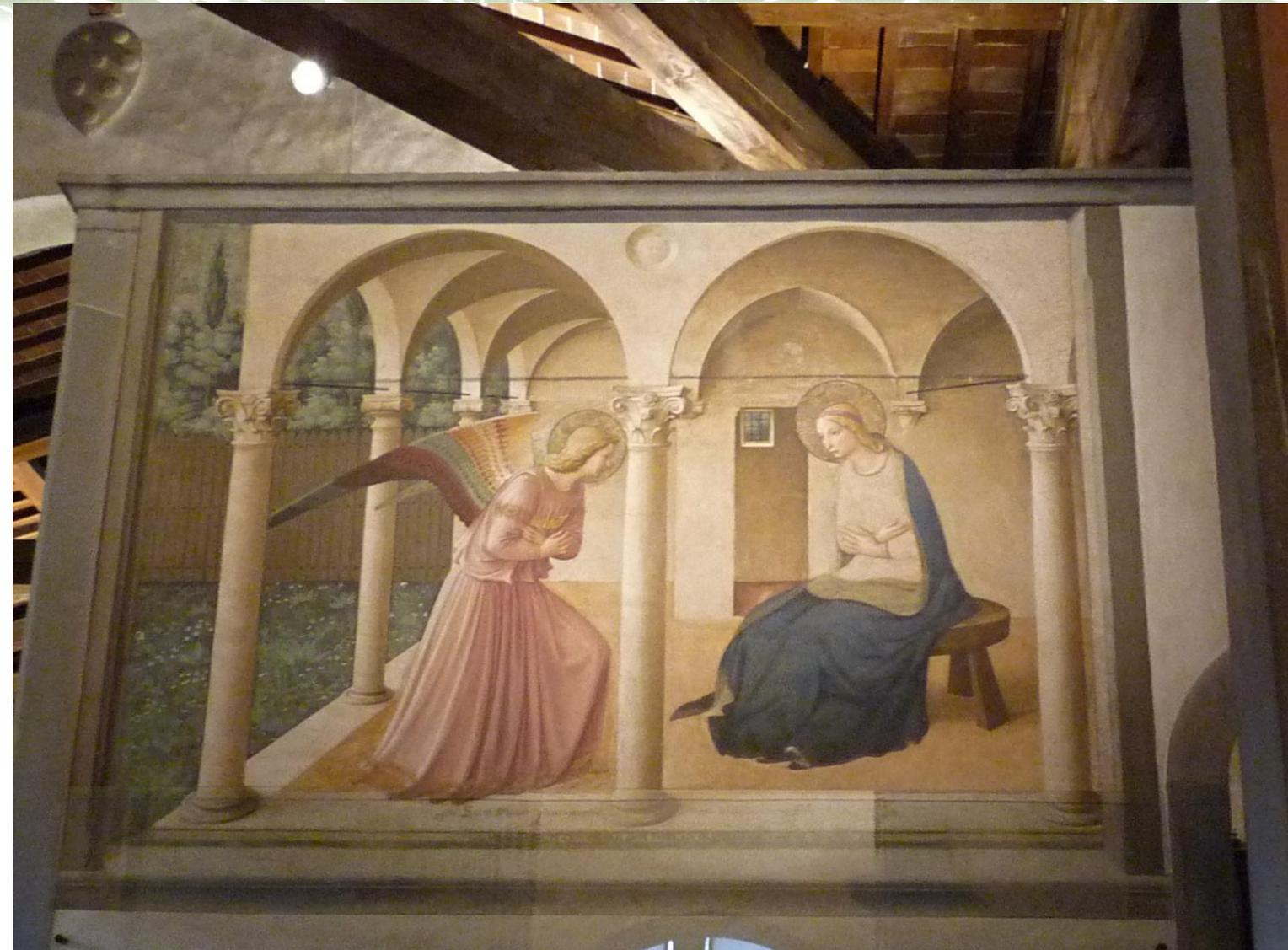
後期ゴシック様式の作風に影響を受けて出発しているが、それにとどまらず、マザッチオやマゾリーニから市民的新芸術を、レオン・バッティスタ・アルベルティの新しい透視図法にも影響を受けている。

# Beato Angelicoの Annunciazione 「受胎告知」

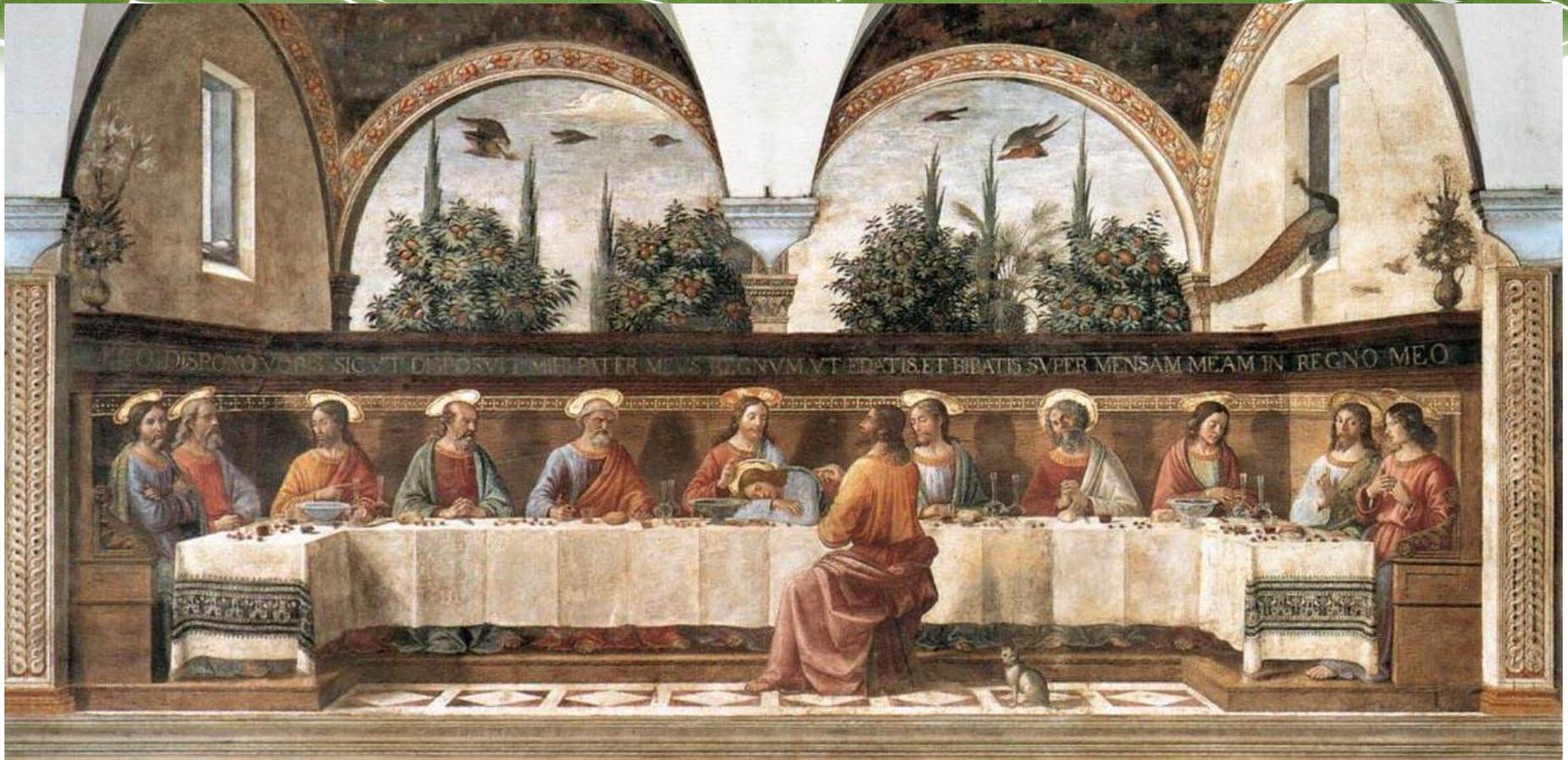
二階への階段を  
上り詰めると目の  
前の僧房の壁に「  
受胎告知」があっ  
た。胸がどきどき  
した。

天使ガブリエル  
の羽の絵の具には  
キラキラ輝く石が  
混ぜてあるのが  
わかった。

2008.12.23

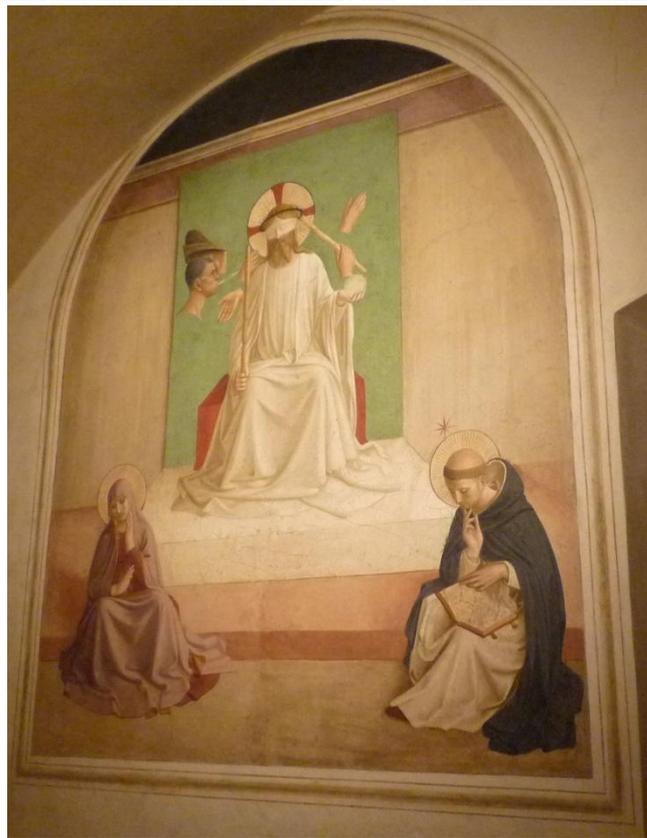


# GhirlandaioのUltima Cena 「最後の晚餐」



Beato Angelicoの魅力は何かと言えば、その画風の清らかさ、素朴さだろう。その清らかさはどこから来るのか？ まず第一に、絵の色合いが柔らかい。1階の土産物店にあるギルランダイオの「最後の晚餐」の色の派手さと較べると、僧房内のAngelicoの絵はずいぶん控えめな色の使い方だ。

# San Marco修道院の43の僧房

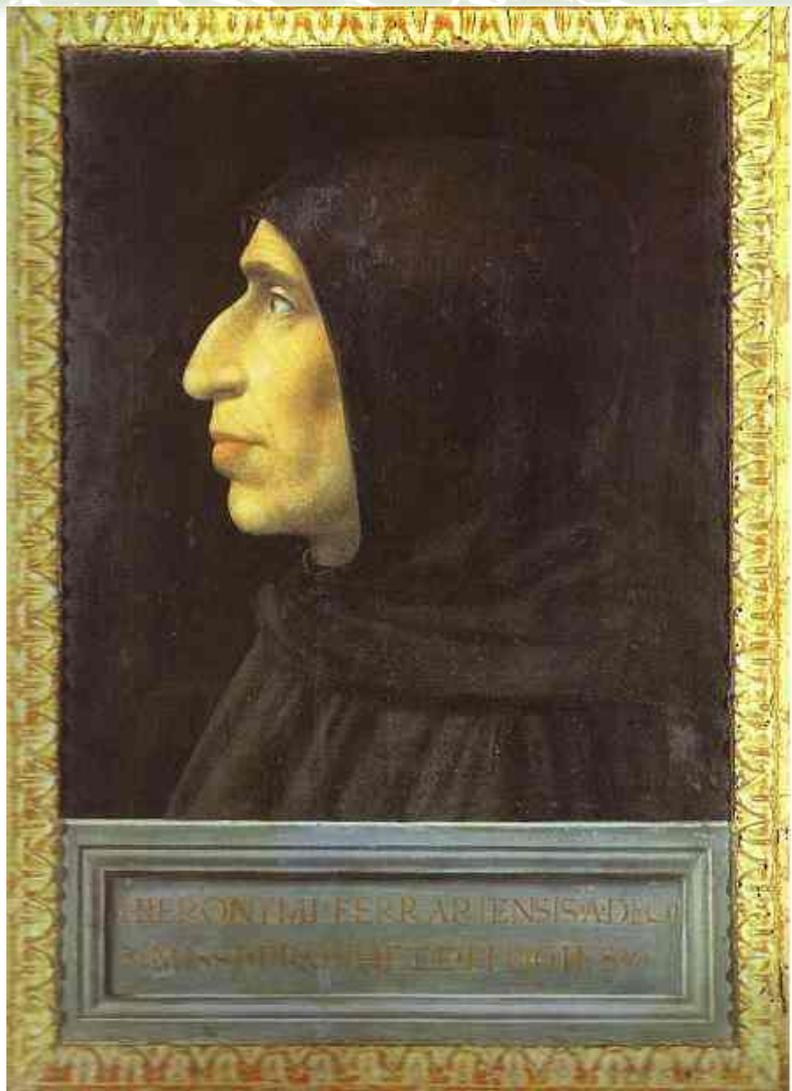


第二に、修道士として絵を描く彼の心は純粹である。絵を書く前に祈りを捧げ、涙を流しながらキリストの絵を描いた彼の思いが全ての絵に込められているのだろう。「受胎告知」では天使も、Mariaも両手を胸で交差させ、優しさつつまじやかさに満ちている。

2008.12.23

2時間かけて、修道院の43の僧房すべての絵を見た。(左)修道院の第1僧房に描かれたNoli me tangere.(ラテン語)「我に触れるな」赤い十字は救世主の復活を意味する。(右)第7僧房に描かれたCristo deriso「キリストの嘲笑」手や首が宙に浮いて、Daliの超現実主義的絵画に見える。

# サン・マルコ修道院長 Girolamo Savonarola はSignoria広場で火あぶりの刑に



1452年、Ferraraに生まれたサヴォナローラは1482年、フィレンツェのサン・マルコ修道院に転任し、後に修道院長となった。説教壇から激烈な言葉でフィレンツェの腐敗ぶりやメディチ家による実質的な独裁体制を批判し、信仰に立ち返るよう訴え、市民を感激させた。信奉者は次第に増えた。(ミケランジェロやボッティチェッリにも影響を与え、後にボッティチェッリは贅沢品として美術品を焼却する「虚栄の焼却」にすすんで絵を差し出し、絵筆も取らなくなったそうだ。) 1494年、フランス軍が侵攻してくると、それを予言していたということで信望が高まる。メディチ家はフランスへの対応を誤ったことからフィレンツェを追放され、サヴォナローラが共和国の政治顧問となって政治への影響力を強める。これ以降、神政政治が行われることになった。(Wikipediaより一部引用)

# サン・マルコ修道院長 Girolamo Savonarola はSignoria広場で火あぶりの刑に



サヴォナローラは次第に教皇国をも批判し、1497年には教皇アレクサンデル6世から破門される。サヴォナローラの厳格な姿勢に対しては反対派の不満も高まっていった。1498年4月8日サン・マルコ修道院に暴徒と化した市民が押し寄せ、ついに共和国もサヴォナローラを拘束する。彼は激しい拷問を受け、教皇の意による裁判の結果異端とされ、5月23日、絞首刑の後、火刑に処され殉教した。

# Savonarola広場にある彼の像 (Enrico Pazzi 作1872年)

San Marco修道院の2階にある図書館入り口左側には以下の文字板があったのでメモした。

In questo luogo la notte dell'8 aprile 1498 quando le orde degli arrabiati e del palleschi ebbero invaso minacciose il convento di S. Marco fu dal commissario della Signoria catturato e tratto in arresto frate Girolamo Savonarola.

1498年4月8日の夜、メディチ家支持派と怒り狂った群衆がサンマルコ修道院になだれ込み、この場所でサヴォナローラは共和国の代表者により逮捕され連行された。

ここは筆者が通っていた学校のすぐそばにある公園である。



# La Basilica di Santa Croce



Santa Croce教会はFirenzeにおける  
Francesco派の拠点として最初の聖堂が13  
世紀の前半に建てられた。質素な教会だ。  
豪華な色大理石で装飾された前面は19世紀  
半ばに作られた。

2008.5.13



# サンタ・クローチェ教会



Danteの像が外にあり、内部は修復中であつた。 2008.5.13

# Firenze出身のDanteの遺骨は？



Danteの像が外にあり、中に記念碑があるのに遺骨はRavennaにある。なぜか？  
DanteはFirenzeから追放されたからだ。  
Ravenna市はFirenzeからの遺骨の引き渡し要求に応じていない。 2008.5.13

# Santa Croce 教会の遺骨



イタリアの教会は、床に墓碑銘があり地下に遺骨がある。なんだか不謹慎な気がするがその上を歩き回れる。ここに墓がある人は、Ghiberti 親子、Galileo、Michelangelo、Machiavelli、Rossiniなどである。 2008.5.13

# Santa Croce 教会有名人お墓参り



「君主論」を書いたMachiavelli  
(1469 ~1527) の墓



「ウィリアム・テル」作曲家、  
Rossini (1792 ~1868) の墓

# Santa Croce 教会有名人お墓参り



Galileo Galilei (1469~1527) の墓

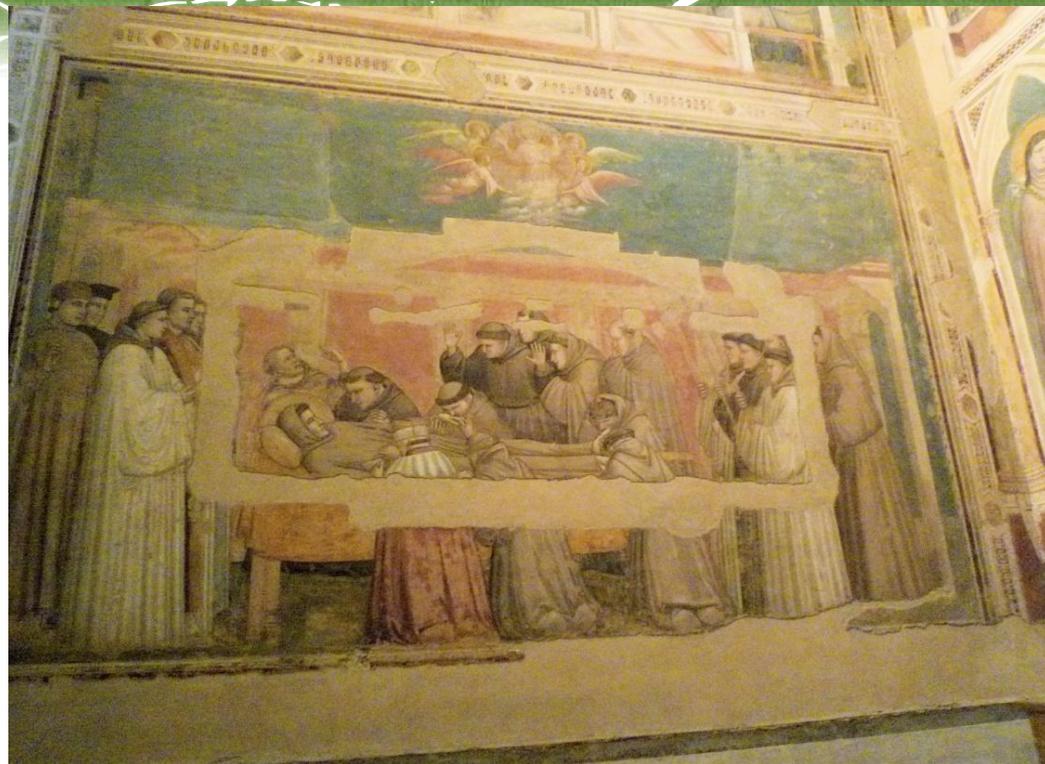


Michelangelo Buonarroti (1469~1527) の墓

# Santa Croce 教会の芸術



Donatello作、Annunciazione 受胎告知



芸術史の時間にも見た、GiottoとGiotto派による有名な「聖Franciscoの死」も暗かったけれど写真に撮れた。

2008.5.13

# Pulpito 説教壇



Maiano作のPulpito説教壇



説教壇に上がるための階段は柱をくりぬいた後ろにある。2008.5.13

# Santa Croce 教会 聖具室



2008.5.13

# 巨大な聖歌集



聖歌集

2008.5.13

# Santa Croce 教会の回廊



2008.5.13

# Chiesa di Santo Spirito



Nerli 礼拝堂にある  
Filippino Lippi (1457頃~1504)による  
「聖母子と聖ジョヴァンニーノ」



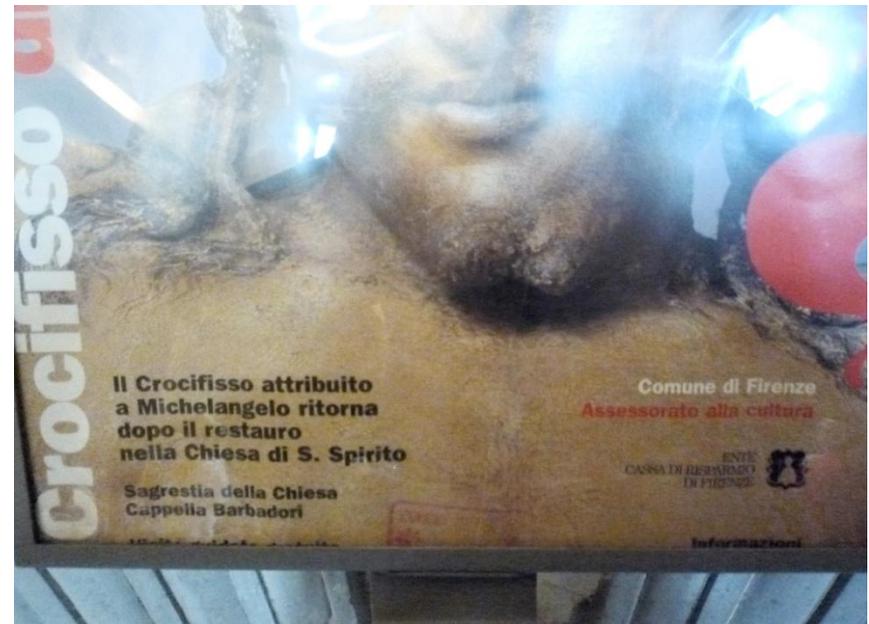
サント・スピリト教会は15世紀の半ばにBrunelleschiによって設計されたが、工事開始直後に亡くなったので外観はのっぺりとしている。入場無料である。前にはたくさんのテント市場が店開きしていた。

2008.6.8

# Michelangelo 木製の十字架像



Santo Spirito教会入口の左側にあるカビ臭い聖具室に入るとMichelangeloの木製の十字架像があった。



2008.6.8

# サント・スピリト教会



2008.6.8



GhirlandaioとMichele di Ridolfoによる  
「聖母子と聖アンナ」 Segni 礼拝堂

# Santa Maria del Carmine 教会



13世紀の半ばに建設が始められたカルメル会の教会で、18世紀の火災でほとんど消失してしまった。現在の建物はルッジェーリ等が設計したバロック様式のものである。



12時半に正面の左入り口から本堂に入り、ミサに参加。2008.6.8

正面は未完成でみすばらしいが右入口から入るとブランカッチ礼拝堂にフレスコ画の傑作がある。

# Santa Maria del Carmine 教会



## 回廊

「学生ですが」と学生証を見せたけど、学生でも年齢制限があるそうで一般料金の4 Euroを払った。20代には見えないよね。

この教会の見所は絵画史上の傑作として有名な、Cappella Brancacci ブランカッチ礼拝堂のSan Pietroの生涯を描いたフレスコ壁画である。入り口前の階段で13時の開館を待った。

入り口で「40分のビデオを見るか」と訊かれ、「はい見ます」と答えた。ビデオはイタリア語と英語を切り替えながらヘッドホンで説明を聞いた。聖ペテロがいかに偉大で、病める人々を救ったか(道を歩いてその影で病人を癒した等)を、壁画をコンピュータ処理して動画のように見せながら解説するビデオであった。 2008.6.8

# ブランカッチ礼拝堂壁画

Intorno al 1422 il ricco mercante Felice di Michele Brancacci incarica Masolino di affrescare la cappella di famiglia con le Storie di San Pietro. E Masolino si fa affiancare dal più giovane Masaccio. Gli affreschi restano incompiuti, forse per la partenza di Masolino per l'Ungheria, nel 1425. Fra il 1481 e il 1482 sarà un terzo grande maestro, Filippino Lippi, a concludere il ciclo di affreschi.

## Santa Maria del Carmine e la Cappella Brancacci

1 Masolino, Tentazione di Adamo ed Eva 2 Masaccio, Cacciata dal Paradiso Terrestre 3 Masaccio, Il tributo 4 Masolino, La predica di San Pietro 5 Masaccio, Il battesimo dei Neofiti 6 Masolino, Guarigione dello storpio e risurrezione di Tabita 7 Masaccio, San Pietro risana gli infermi con l'ombra 8 Masaccio, La distribuzione delle elemosine e la morte di Anania 9 Filippino Lippi, San Pietro in carcere visitato da San Paolo 10 Masaccio e Filippino Lippi, La resurrezione del figlio di Teofilo e San Pietro in cattedra 11 Filippino Lippi, L'angelo libera San Pietro dal carcere 12 Filippino Lippi, La disputa di Pietro e Paolo con Simon Mago davanti all'imperatore e la crocifissione di San Pietro



Masolino、Masaccio、Filippino Lippi によって描かれた「聖ペテロの生涯」この壁画はフィレンツェにおけるルネサンスの幕開けを告げる重要な作品で、Masaccioによる、「楽園からの追放」と「貢の錢」が有名である。Michelangeloがお手本として模写した。

# ブランカッチ礼拝堂壁画左側

San Pietroの生涯を描いたフレスコ壁画の左側



Masaccio (1401~1429頃)による  
「アダムとイブの楽園追放」これほど感情豊かな表現はそれまでにはなかった。

2008.6.8

# ブランカッチ礼拝堂壁画



Masaccioによる「貢の銭」

ブランカッチ礼拝堂で最も有名な絵がこの絵で、イエスとペテロが描かれている。左側でペテロが魚の口から硬貨を取りだし右側ではペテロがお金を払っている。

この教会はFirenzeでは珍しく、写真撮影は自由であった。 2008.6.8

# ブランカッチ礼拝堂壁画右側

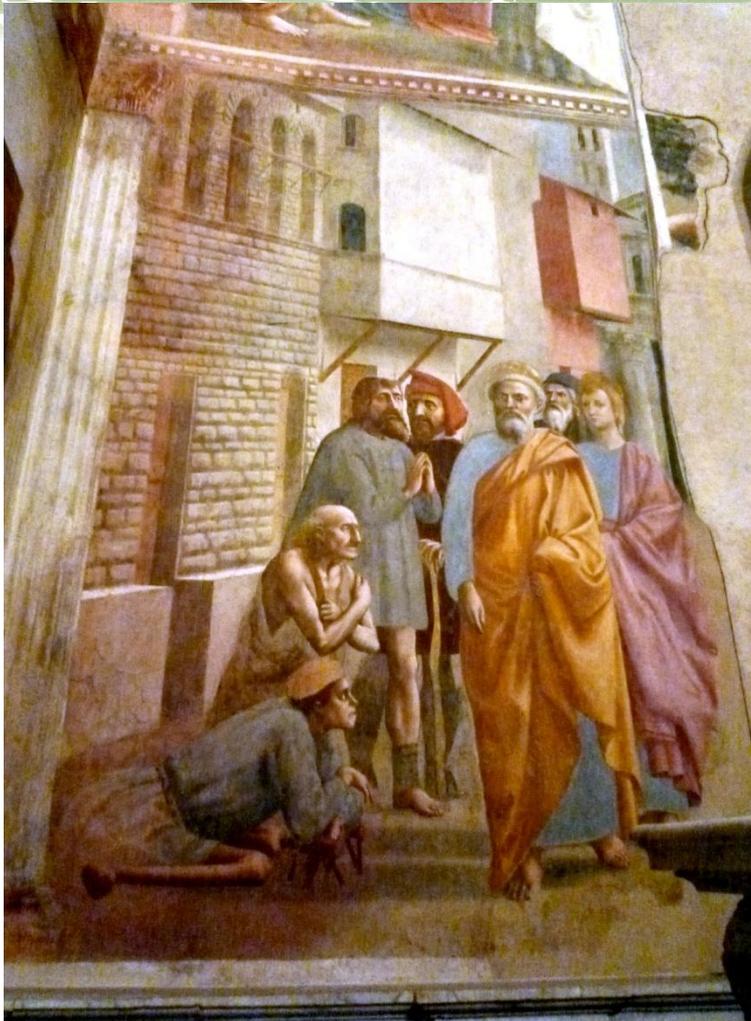


San Pietroの生涯を描いたフレスコ壁画右側  
2008.6.8



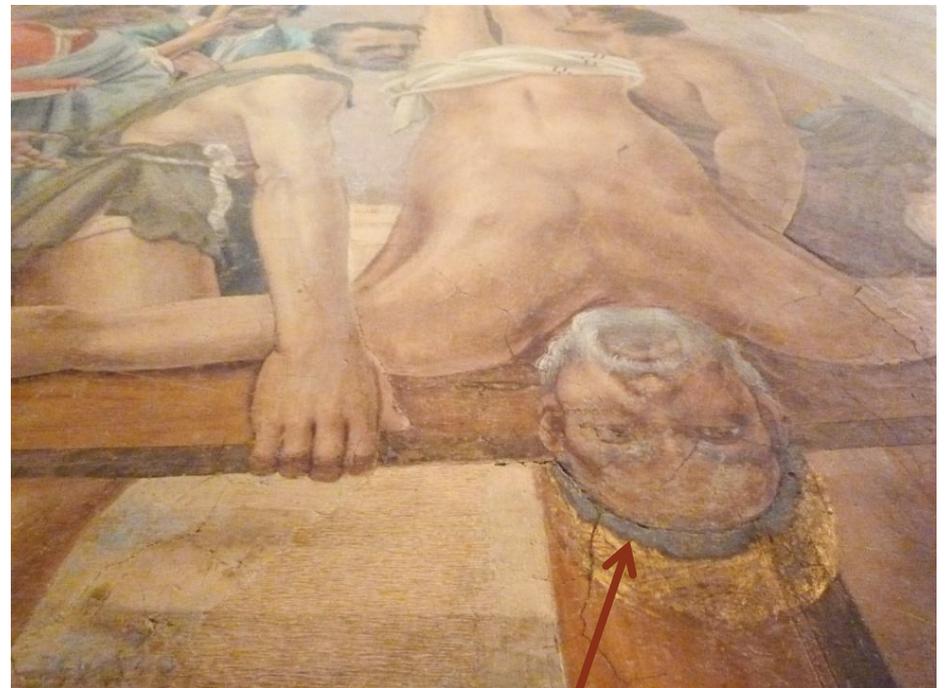
Masolino による「アダムとイヴの誘惑」

# フレスコ画の詳細を目の当たりに



Masaccioによる  
「影で病人を癒す聖ペテロ」

フレスコ画実演を見て以来、絵の輪郭線に興味があったので目を近づけてみると、やはり輪郭線は漆喰を切り取った跡が見て取れた。なかには絵の具がはみだしてみっともない部分も発見した。 2008.6.8



「ペテロの磔刑」  
(漆喰を切り取った跡が見える)

その1

**FINE**

撮影と編集：中川信雄

2011.9.12